

府中市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画 策定のためのアンケート調査

調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、平成23年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）」の基礎資料として、高齢者福祉全般の調査を実施します。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成22年11月 府中市

《記入にあたってのお願い》

1. 濃い鉛筆又はボールペンで記入してください。
2. ご回答は、最初から順番にお答えください。
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
4. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、

12月8日（水）までにお近くのポストに投函してください。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

■調査についてのお問い合わせ先

府中市福祉保健部高齢者支援課在宅支援係

☎ 042-335-4470（直通）

府中市福祉保健部高齢者支援課給付指導係

☎ 042-335-4031（直通）

府中市福祉保健部高齢者支援課包括マネジメント担当

☎ 042-335-4106（直通）

【最初に、貴法人又は事業所の概要についておたずねします】

問 1 貴事業所の名称及び所在地等を記入してください。

法人名	
事業所名	
所在地 〒	
調査に回答いただいた方	
〔役職〕	〔お名前〕

【提供しているサービスの状況と今後の展開についておたずねします】

問 2 活動状況についてお答えください。

項 目	回 答 欄				
組織形態 (1つに○)	1. 社会福祉法人 2. 社会福祉協議会 3. 福祉公社・事業団 4. 社団法人 5. 財団法人 6. 医療法人 7. JA・生協 8. 株式会社 9. 有限会社 10. NPO 11. その他(具体的に:)				
事業所の種類 (1つに○)	1. 地域包括支援センター・在宅介護支援センター 2. 訪問介護 3. 通所介護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリ 7. 通所リハビリ 8. 居宅療養管理指導 9. 住宅改修・福祉用具 10. 短期入所生活・療養介護 11. 介護老人福祉施設 12. 介護老人保健施設 13. 介護療養型医療施設 14. 特定施設入居者生活介護 15. 小規模多機能型居宅介護 16. 介護予防小規模多機能型居宅介護 17. 夜間対応型訪問介護 18. 認知症対応型通所介護 19. 介護予防認知症対応型通所介護 20. 認知症対応型共同生活介護 21. 介護予防認知症対応型共同生活介護 22. 地域密着型特定施設入居者生活介護 23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 24. その他(具体的に:)				
併設する 事業所の種類 (いくつでも○)	1. 地域包括支援センター・在宅介護支援センター 2. 訪問介護 3. 通所介護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリ 7. 通所リハビリ 8. 居宅療養管理指導 9. 住宅改修・福祉用具 10. 短期入所生活・療養介護 11. 介護老人福祉施設 12. 介護老人保健施設 13. 介護療養型医療施設 14. 特定施設入居者生活介護 15. 小規模多機能型居宅介護 16. 介護予防小規模多機能型居宅介護 17. 夜間対応型訪問介護 18. 認知症対応型通所介護 19. 介護予防認知症対応型通所介護 20. 認知症対応型共同生活介護 21. 介護予防認知症対応型共同生活介護 22. 地域密着型特定施設入居者生活介護 23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 24. その他(具体的に:)				
職員・スタッフ の人数 ※非常勤は常 勤換算でお答 えください		常 勤	非常勤		
	介護支援専門員	平均	人	平均	人
	うち 専 従	平均	人	平均	人
	兼 務	平均	人	平均	人
	事務管理者	平均	人	平均	人

項 目	回 答 欄			
		常 勤		非常勤
職員の資格取得の状況	介護福祉士	平均	人	平均 人
	ホームヘルパー	平均	人	平均 人
	1 級	平均	人	平均 人
	2 級	平均	人	平均 人
	3 級	平均	人	平均 人
	社会福祉士	平均	人	平均 人
	医 師	平均	人	平均 人
	保健師・看護師	平均	人	平均 人
	管理栄養士・栄養士	平均	人	平均 人
	薬剤師	平均	人	平均 人
	理学療法士	平均	人	平均 人
	作業療法士	平均	人	平均 人
	言語聴覚士	平均	人	平均 人
	歯科衛生士	平均	人	平均 人
	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	平均	人	平均 人

【今後の事業運営についておたずねします】

問 3 昨年度の事業の採算はいかがでしたか。お差支えなければお答えください。（1つに○）

1. 黒字	3. 損益なし
2. 赤字	4. その他（具体的に： ）

問 4 貴事業所では、今後 3 年間の事業規模についてどのようにお考えですか。（1つに○）

1. 拡大予定	3. 縮小予定（具体的に： ）
2. 現状維持	4. 検討中・わからない

問 5 昨年 1 年間の職員の離職状況（退職や転職）をお答えください。また、補充はどのようにしていますか。具体的にお書きください。

※「退職」とは、専業主婦となる場合のほか他産業への転職を含みます。

※「転職」とは、他の介護保険事業者へ移行することです。

※離職者には非常勤も含みます、離職率は在籍職員数を母数とします。

（1）離職状況

① 貴事業所の職員の平均在籍年数は何年ですか。

イ. 看護師（ 年）	ハ. 介護福祉士（ 年）
ロ. ヘルパー（ 年）	ニ. 社会福祉士（ 年）

② 昨年 1 年間の離職者数及び離職率と退職者・転職者別平均在籍年数

全離職者数（ 人）		離職率（ %）	
〈退職者〉イ. 看護師（ 年）	ロ. ヘルパー（ 年）	ハ. 介護福祉士（ 年）	ニ. 社会福祉士（ 年）
		ハ. 介護福祉士（ 年）	
〈転職者〉イ. 看護師（ 年）	ロ. ヘルパー（ 年）	ハ. 介護福祉士（ 年）	ニ. 社会福祉士（ 年）
		ハ. 介護福祉士（ 年）	

③ 離職の主な理由別平均在籍年数

イ. 働きがい（ 年）	ニ. 転出・結婚等（ 年）
ロ. 給与・賃金（ 年）	ホ. その他（具体的に： ）
ハ. 人間関係（ 年）	（ 年）

(2) 補充対策を具体的にお書きください。

【予防・居宅介護サービス提供事業者の方におたずねします】

問6 日ごろ、居宅サービスを提供していくうえで、法令順守（コンプライアンス）は当然として、利用者からの信頼を得るためには何が必要か、お考えをお教えてください。
(いくつでも○)

1. 経営理念・ビジョンの確立	7. マニュアルや手引書の整備
2. 組織体制	8. 利用者への対応
3. 人材確保	9. 他機関(他事業所等)との連携
4. 人材育成(研修・学習会)	10. 情報収集及び提供方法
5. 就業環境整備(人件費・福利厚生等)	11. 個人情報保護
6. サービス内容の充実	12. その他



[12. その他]具体的に

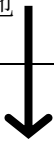
問7 居宅サービスを受けている利用者からサービスへのご意見・ご要望等がありましたら、お書きください。

【施設サービス提供事業者の方におたずねします】

問 8 日ごろ、施設サービスを提供していくうえで、法令順守（コンプライアンス）は当然として、利用者からの信頼を得るためには何が必要か、お考えをお教えてください。（いくつでも○）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 経営理念・ビジョンの確立 | 8. 利用者への対応 |
| 2. 組織体制 | 9. 老朽化した施設の整備 |
| 3. 人材確保 | 10. 他機関（他事業所等）との連携 |
| 4. 人材育成（研修・学習会） | 10. 情報収集及び提供方法 |
| 5. 就業環境整備（人件費・福利厚生等） | 11. 個人情報保護 |
| 6. サービス内容の充実 | 12. その他 |
| 7. マニュアルや手引書の整備 | |

[12. その他]具体的に



問 9 施設サービスを受けている利用者からサービスへのご意見・ご要望等がありましたら、お書きください。

【介護予防事業をしていない事業所におたずねします】

問 10 今後、参入予定の介護予防事業はありますか。また、「参入意向がない」又は「検討中」の場合は、その理由と参入条件を下段の枠の中からいくつでも選んでください。
(※のサービスは、新予防給付サービス)

サービス名	参入意向(1つに○)	参入意向なしの理由(上段) 条件(下段)
①介護予防通所介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
②介護予防通所リハビリテーション	1. ある 3. 検討中 2. ない	
③介護予防訪問介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
④介護予防訪問リハビリテーション	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑤介護予防訪問入浴介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑥介護予防訪問看護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑦介護予防居宅療養管理指導	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑧介護予防福祉用具貸与	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑨特定介護予防福祉用具販売	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑩介護予防住宅改修費支給	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑪介護予防短期入所生活／療養介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑫介護予防特定施設入居者生活介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑬運動器の機能向上(筋力向上・転倒予防)※	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑭栄養改善※	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑮口腔機能の向上※	1. ある 3. 検討中 2. ない	

【理 由】

1. 採算があわない
2. 人手が不足
3. 他社との競合が激しい
4. 市場拡大が望めない
5. 公的支援が受けにくい
6. 施設を開設する土地や建物についての情報がない
7. その他
(具体的に:)

【条 件】

1. 財政面の公的な支援
2. 人材面の公的な支援
3. 場の提供
4. 市場ニーズの情報提供
5. その他
(具体的に:)

【地域密着型サービスについておたずねします】

問 11 今後、参入予定の地域密着型サービスはありますか。また、「参入意向がない」又は「検討中」の場合は、その理由と参入条件を下段の枠の中からいくつでも選んでください。

サービス名	参入意向(1つに○)	参入意向なしの理由(上段) 条件(下段)
①小規模多機能型居宅介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
②介護予防小規模多機能型居宅介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
③夜間対応型訪問介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
④認知症対応型通所介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑤介護予防認知症対応型通所介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑥認知症対応型共同生活介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑦介護予防認知症対応型共同生活介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑧地域密着型特定施設入居者生活介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	
⑨地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1. ある 3. 検討中 2. ない	

【理 由】

1. 人件費が高い
2. 人手が不足
3. 家賃が高い
4. 地代が高い
5. 市場のニーズがわからない
6. 施設を開設する土地や建物についての情報がない
7. その他
(具体的に:)

【条 件】

1. 財政面の公的な支援
2. 人材面の公的な支援
3. 場の提供
4. 市場ニーズの情報提供
5. その他
(具体的に:)

【サービスの質の向上に向けた取り組みについておたずねします】

問 12 現在、貴事業所では質の向上に対する取り組みをどのように行っていますか。(いくつでも○)

1. 第三者評価の実施	8. 人材の確保
2. 専門家、コンサルタントの活用	9. スタッフの資格取得への支援
3. ISO等品質管理に対する認証取得	10. 事業者間の交流
4. 苦情事例等の活用・蓄積	11. 事業者連絡会への出席
5. 事業所内での検討会	12. 利用者調査の実施
6. 手引書の作成と見直し	13. 介護情報の公表
7. 外部研修会への出席	14. その他(具体的に:)

《問 12 で「1」と回答しなかった事業所におたずねします》

問 13 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 実施の予定がある(→問 14 へ進む) | 2. 実施の予定はない |
|------------------------|-------------|

《問 13 で「2」とお答えの事業所におたずねします》

問 13-1 その主な理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 費用がかかりすぎるから | 4. サービスの改善に結びつくかわからないから |
| 2. メリットがわからないから | 5. その他 |
| 3. 評価機関の選び方がわからないから | (具体的に:) |

問 14 人材を確保するためにどのような取り組みを行っていますか。

(1) 現在の取り組み(いくつでも○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 9. 職員間の助け合い制度 |
| 2. 中途採用枠の拡大 | (具体的に:) |
| 3. 就業時間の見直し | 10. 同事業所内で人員確保 |
| 4. 福利厚生の実施 | 11. 社外の協力体制の整備 |
| 5. 資金面の充実 | 12. 求人広告掲載 |
| 6. 研修会への参加支援 | 13. その他 |
| 7. 資格取得の支援 | (具体的に:) |
| 8. 苦情・相談体制の充実 | |

(2) 今後の取り組み(いくつでも○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 9. 職員間の助け合い制度 |
| 2. 中途採用枠の拡大 | (具体的に:) |
| 3. 就業時間の見直し | 10. 同事業所内で人員確保 |
| 4. 福利厚生の実施 | 11. 社外の協力体制の整備 |
| 5. 資金面の充実 | 12. 求人広告掲載 |
| 6. 研修会への参加支援 | 13. その他 |
| 7. 資格取得の支援 | (具体的に:) |
| 8. 苦情・相談体制の充実 | |

問 15 研修についておたずねします。

(1) 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 十分実施できている | |
| 2. 十分ではないが実施できている | |
| 3. ほとんど実施できていない(→理由: |) |
| 4. その他(具体的に: |) |

(2) 外部の研修や事例検討、勉強会について、職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 支援している | |
| 2. 十分ではないが支援している | |
| 3. ほとんど支援していない(→理由: |) |
| 4. 支援したいができない(→理由: |) |
| 5. その他(具体的に: |) |

【医療と介護の連携の状況についておたずねします】

問 16 貴事業所は、医療と介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. 必要である（→問 17 へ進む） | 2. 必要でない |
|---------------------|----------|

《問 16 で「2」とお答えの事業所におたずねします》

問 16-1 そのように考える理由は何ですか。（1つに○）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 医療と介護は別である | 3. その他 |
| 2. 制度が違う | （具体的に：_____） |

問 17 市民の在宅療養者への医療と介護は、サービス担当者会議等を通じて連携していると思いますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 十分連携していると思う | }（→問 18 へ進む） |
| 2. ある程度連携していると思う | |
| 3. 連携が不十分であると思う | |
| 4. ほとんど連携していないと思う | |

《問 17 で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします》

問 17-1 そのように考える理由は何ですか。（3つまでに○）

- | |
|---|
| 1. 医学知識や医療制度がわからない
2. お互いに多忙で連絡がとれない
3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない
4. 交流の場がない
5. 誰と連絡をとればいいのかわからない
6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している
7. その他（具体的に：_____） |
|---|

問 18 貴事業所が、市民の医療や介護に携わる中で主に連携している医療機関や他の介護関係機関の具体的な名称をそれぞれ1つずつご記入ください。

病 院	
診療所（在宅療養支援診療所を含む）	
歯科診療所	
薬 局	
訪問看護ステーション	
他の介護サービス事業者	

問 19 貴事業所では、退院前（時）カンファレンスに出席したことがありますか。（1つに○）

- | | |
|--------|-------------------|
| 1. あ る | 2. な い（→問 20 へ進む） |
|--------|-------------------|

《問 19 で「1」とお答えの事業所におたずねします》

問 19-1 退院前（時）カンファレンスの頻度はどのような状況ですか。具体的にお書きください。

_____ _____ _____

問 20 貴事業所では、医療と介護の連携を図る上で情報の共有化をどのように進めれば良いとお考えですか。具体的にお書きください。

問 21 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。（1つに○）

1. ある	2. ない（→問 22 へ進む）
-------	------------------

《問 21 で「1」とお答えの方におたずねします》

問 21-1 どのような問題やトラブルが発生しましたか。具体的にお書きください。

問 22 貴事業所が関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。（ア～スそれぞれ1つに○）

	ほとんど いない	あまりと つて いない	ある程 度と つて いる	よくと つて い る
記入例) サービス利用者のかかりつけ医	1	②	3	4
ア. 病 院	1	2	3	4
イ. サービス利用者のかかりつけ医	1	2	3	4
ウ. サービス利用者が必要と考えられる診療科の医師	1	2	3	4
エ. 歯科医師	1	2	3	4
オ. 薬剤師	1	2	3	4
カ. 病院の地域連携室(医療ソーシャルワーカー)	1	2	3	4
キ. 地域包括支援センター	1	2	3	4
ク. 訪問看護ステーション	1	2	3	4
ケ. ケアマネジャー	1	2	3	4
コ. ホームヘルパー	1	2	3	4
サ. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4
シ. 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
ス. 短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	3	4

〔問 23 以降は、訪問系・通所系の介護保険サービスを提供している事業者におたずねします。施設系・居住系の介護保険サービスを提供している事業者は問 37 へ進んでください〕

【サービス利用者の在宅医療の必要性についておたずねします】

問 23 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、往診＊が必要と思われる方はいますか。（１つに○）（＊：患者さんの求めに応じて急変時に行う診療）

1. いる→()人	2. いない
------------	--------

問 24 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問診療＊が必要と思われる方はいますか。（１つに○）（＊：通院の困難な患者さん宅に定期的に訪問して行う診療）

1. いる→()人	2. いない（→問 26 へ進む）
------------	-------------------

《問 23 及び問 24 とも「１. いる」とお答えの事業所におたずねします》

問 25 貴事業所では、医療処置を必要としている方に往診や訪問診療が十分行われていると思いますか。（往診と訪問診療に分けてそれぞれ１つに○）

① 往診（１つに○）	② 訪問診療（１つに○）
1. 十分行われている 2. ある程度行われている 3. あまり行われていない 4. 全く行われていない	1. 十分行われている 2. ある程度行われている 3. あまり行われていない 4. 全く行われていない

《問 25 で１つでも「３」又は「４」とお答えの方におたずねします》

問 25-1 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

.....

問 26 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。（ア～ウそれぞれ１つに○）

ア. 訪問看護が必要と思われる方	1. いる→()人	2. いない
イ. 訪問歯科診療が必要と思われる方	1. いる→()人	2. いない
ウ. 訪問服薬管理指導が必要と思われる方	1. いる→()人	2. いない

問 27 貴事業所では、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われているとお考えですか。（１つに○）

1. 行われていると思う	3. あまり行われていないと思う
2. ある程度行われていると思う	4. 全く行われていないと思う

問 28 貴事業所では、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていく上で不足している機能は何だとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所 2. 訪問看護（訪問看護ステーション） 3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設 4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設 5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア 6. その他（具体的に：	）
---	---

問 29 貴事業所では、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦勞していますか。具体的にお書きください。

問 30 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）にどのようなことを期待しますか。具体的にお書きください。

問 31 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。（1 つに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分把握している | 3. あまり把握していない |
| 2. ある程度把握している | 4. ほとんど把握していない |

問 32 貴事業所では、主治医との連携はとれていますか。(1つに○)

1. 全員の利用者に対してとれている
2. ほとんどの利用者に対してとれている
3. ごく少数しかとれていない
4. 全くとれていない

問 33 一般に医療機関や主治医等との連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由は何だとお考えですか。(1つに○)

1. 主治医と話すことに気後れする
2. 連携のとり方がわからない
3. 連携の必要性を感じない
4. その他（具体的に： ）

問 34 貴事業所では、ふだん、医療機関や主治医とどのような方法で連絡をとっていますか。(いくつでも○)

1. 電 話 3. 電子メール 5. その他
2. ファックス 4. 直接訪問 （具体的に： ）

問 35 貴事業所では、サービス利用者一人ひとりの主治医と面識がありますか。面識があるおおよその割合をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 0～2割くらい | 3. 5～6割くらい | 5. 9～10割くらい |
| 2. 3～4割くらい | 4. 7～8割くらい | |

問 36 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。（3つまでに○）

1. 医師・歯科医師がケアマネジャーの相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を創設する
2. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する
3. 医療と介護の連携マニュアルを作成する
4. 市内の医療機関への連絡可能時間を記したリストを作成する
5. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する
6. 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する
7. 関係者のためのネット上で連絡がとれるようなしくみを構築する
8. 医療（病院・診療所）と介護の役割分担を明確にする
9. その他（具体的に：_____）

【災害時の体制についておたずねします】

問 37 大規模災害が発生した際の要援護者の支援について、計画や方針はありますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 計画や方針がある | 3. 計画や方針はないし、策定予定もない |
| 2. 今後策定する予定である | |

問 38 大規模災害が発生したときに、要援護者に対するサービスを早期に再開し、継続的に提供するためのマニュアルやガイドラインなどがありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. マニュアルやガイドラインがある | 3. マニュアルやガイドラインはないし、策定予定もない |
| 2. 今後策定する予定である | |

【府中市への意向についておたずねします】

問 39 今後保険者としての府中市に対し、事業者として望むことは何ですか。(3つまでに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施 |
| 2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援 |
| 3. 不正な事業者への指導 |
| 4. 利用者への適正なサービス利用の啓発 |
| 5. 地域包括支援センター機能の充実 |
| 6. 市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催 |
| 7. 制度運営における保険者判断部分の周知 |
| 8. その他(具体的に) |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| 9. 特になし |

問 40 「介護保険制度」全体をよりよくするために、市が力を入れるべきことは次のうちどれですか。(3つまでに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. サービス事業者の質を高めること |
| 2. ケアマネジャーの質を高めること |
| 3. ホームヘルパーなど福祉人材を育成すること |
| 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設を増やすこと |
| 5. 利用者の費用負担を軽減すること |
| 6. 寝たきりにならないよう、介護予防サービスを充実すること |
| 7. 地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと |
| 8. 身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと |
| 9. 困ったときに気軽に相談できる場所を増やすこと |
| 10. 家族介護の負担を軽減するサービスを充実すること |
| 11. 地域包括支援センター・在宅介護支援センターを充実すること |
| 12. 介護保険制度を使いやすいものにすること |
| 13. 介護保険サービスをカバーする保健福祉サービスを充実すること |
| 14. その他(具体的に) |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| 15. わからない |

問 41 最後に、介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月8日（水）までに**お近くのポストに投函してください。